

納入事例

立川 シネマシティ様

東京初のシネコン& THX 認定シアター (THX は現在廃止) として 1994 年 10 月にオープンしたシネマシティ。遊び心ある空間を目指し、「極上音響上映」や「極上爆音上映」など、従来の映画館を超える多彩な企画で好評を博しています。そういったシネマシティのシネマ・ワン、k studio のスピーカーマネージメントシステムとして ALLEN & HEATH 「AHM64」が採用されました。音響設備から映像空間まで常に向上を続けるシネマシティにてシネマシティ株式会社 映写部部長の雨宮様、機材選定や調整に携わった株式会社ビーフリーの岩下様に採用にあたっての経緯や、導入後の効果などをお伺いしました。

2023 年 10 月 運用開始



■ k studio はどのような劇場なのでしょうか？



雨宮 「シネマシティにはシネマ・ワン、シネマ・ツールの2拠点があるのですが、k studioはシネマ・ワンにある座席数175席の丁度良い大きさの劇場です。元々舞台装置のあった劇場で舞台上にスクリーンを配置しています。k studioは形状や材質によるものなのか、鳴りが良く、非常に元気のある音が出る劇場としてファンも多い空間です。」

▲シネマシティ株式会社 雨宮氏

■ その中で AHM はどのように運用していますか？

雨宮 「シネマプロセッサーから出力された 7+1ch を入力し、AHM でマトリクスを組んで調整し、各スピーカーに振り分けるスピーカーマネージメントシステムとして運用しています。以前のスピーカーマネージメントシステムは時代も古いもので、サンプリングレート、ダイナミックレンジも低かったため、かなりの音質のアップグレードにつながっています。また、リモートコントローラー IP-8 も導入しており、舞台挨拶時は IP-8 のフェーダーを上げるだけでマイクの調整が行えるので非常に便利です。」

岩下 「映画館というのは運営の特性上、機材の入れ替えは夜から朝までの間にすべてを完了しなければいけないのです。そして、入れ替えた次の日から新しい機材での運用が始まる。同じ演目だからゆえに音の変わりようはすごく感じましたね。」

雨宮 「本当に衝撃を受けました。解像度や音の粒立ちがはっきりと把握できるようになり、感動しました。他のスクリーンと比較しても今の k studio の音質は明らかにグレードアップしたと思います。10 月に運用を開始したばかりなので、まだこれからもっと活用していくと思いますが、導入以来、何の問題もなく、安定して運用できています。」

■ AHM を導入した経緯を教えてください。

岩下 「元々、私は昔から ALLEN & HEATH 製品に親しんでおり、GLX や dLive などのデジタルミキサーを仕事で活用していました。そのころから音質や操作性、レイテンシーの低さには非常に高く評価していたのです。そんな中、シネマシティさんの機材改修の相談を受けまして機材の選定を行っていたところ、AHM という製品に高いポテンシャルを感じたのです。」



▲ラック内に実装された AHM64(左)
リモートコントローラー IP-8(右)



■ AHM は元々は商業施設などの固定設備のゾーニングを行うプロセッサーとして開発されました。

岩下 「そうなんですよね。それは存じていたのですが、シネマ用のプロセッサーとしても十分対応できるスペックだと考えました。96kHz の高解像サウンド、非常になめらかな周波数制御、精度の高い EQ など、今までのマネージメントシステムと比べて格段に能力が上がったと思います。」

雨宮 「商業施設用途は知らなかったのですが、そうだとしたらオーバースペックですよ（笑）もったいないくらいの高音質だと思います。」



▲株式会社ビーフリー 岩下氏

■ AHM のなかでも AHM64 を採用した理由を教えてください。

岩下 「AHM は 64 と 32、16 と 3 モデルありますが、結果的には最も入出力の多い AHM64 を導入してよかったと思っています。保守検査の際は各出力のモニタリングを行う際、出力ポートがたくさんあることでルーティングが非常に楽です。映画館のような改修に時間が限られる現場では簡単に希望の音源を手元に出して確認できることはとてもメリットだと思います。」



▲左から AHM32、AHM64、AHM16

■ それでは今後の課題や展望をお聞かせください。

雨宮 「まず、AHM を導入しているシステムとしてはインタフェースである System Manager を熟知してさらに応用した運用をしてきたいと考えています。System Manager はまだ触った程度ですが、非常に直感的にわかりやすいインターフェースだと思います。将来的な夢かもしれませんが、AHM64 でドルビーアトモスを構成できたら、と考えています。また、これだけ良い音になっているので、k studio でも極上音響などの特別上映を行えるといいですね。」



▲AHM の設定インターフェース System Manager

ありがとうございました。

コロナ禍から脱却し、ようやく映画館で映画を楽しめるようになった昨今。シネマシティは家では味わえないような迫力のある音響、臨場感あふれるスクリーンで映画館ならではの劇場体験を提案しています。その中の 1 つの装置として ALLEN & HEATH AHM が活躍しています。

主要な納入機材

機材	ブランド名	製品名
マトリクスミキサー	ALLEN & HEATH	AHM64

導入事業者

シネマシティ株式会社
<https://cinemacity.co.jp/>

納入事業者

株式会社ビーフリー
<http://befree-web.jp/main/>



● お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティング Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5419-1550
TEL : 03-5419-1565